

第5回公園連絡協議会（準備活動）開催結果について

1. 日時 2022年12月7日（水）18：30～20：30
2. 場所 現地会場（JICA 沖縄ニライホール3階 多目的ルーム）及びオンライン
3. 参加者等 会場参加：13名、オンライン参加：14名
ファシリテータ：株式会社新産業文化創出研究所 廣常 啓一
浦添市、UR都市機構 沖縄まちづくり支援事務所

第5回目となる12月7日の公園利活用連絡会では、「オンライン」と「現地会場」で、初のハイブリッド形式で開催した。経塚公園近隣の市民や事業者の皆様ほか、オンラインでは東京や福井など、県外の事業者などの皆様にもご参加いただいた。

今回は4組からのイベントや活動の提案のほか、来年2月に実施予定の第3回社会実験に向けた案内や進捗報告、11月26日に開催した第2回社会実験イベント（公園指定管理者主催）の報告が行われた。

提案の1つ目は、前回の公園利活用連絡会での意見を受けて、もっと気軽に公園で行えるような企画案の発表、提案2つ目は、経塚公園のコンセプト（健康に資する公園）を受けて「健康フェア（仮）」の提案、3つ目は運動トレーニング企画の提案、4つ目は浦添のマスコットキャラクター制作活動の紹介が行われた。その後、来年2月の社会実験に向けたイベント概要説明や出店者募集、第2回社会実験（11月26日）の開催報告が行われた。



1. 経塚公園の整備・利活用について

浦添市美らまち推進課 技査 親里 直幸氏

◇経塚公園の方向性について

・平成30年度から令和2年度にかけて、市民や事業者等の意見をまとめて、経塚公園の方向性を「地域の健康づくり及び市民の健康増進の機能を備えたまちづくりに資する公園」と決定した。

◇公園利活用連絡会について

- ・ 経塚公園では、公園まちづくりとして公民連携部会、市民協働部会として活動を進めてきた。令和3年より市民協働部会は公園利活用連絡会へと形を変え、公園を利活用したい方々がどなたでも参加可能な意見交換の場となった。
- ・ 公園利活用連絡会の活動の中で、市民農園の活動やあずま会などの団体が生まれてきたが、これからも新たな団体なども増やしながら、経塚公園を盛り上げていきたいと考えている。
- ・ 公園利活用連絡会は、公園を使いたい方が自由に活動提案を行い、仲間の募集や活動の連携、地域の皆さんとの共創を推進する場である。地域の課題や悩みごとなども発表し公園を活用した解決の活動アイデアや協力者を募ることもできる。
- ・ 活動したい個人や団体、事業者など、基本的にどなたでも参加可能である。



2. 発表

- ① 「小さな公園活用企画 ～もっと気軽に、自然の中で～」
- ・ うらそえ公園管理共同企業体（指定管理者）に所属している。
 - ・ 今年11月や来年2月のイベントは大型のイベントであるが、敷居を低くして、学校帰りに子どもたちが公園で遊ぶような、もっと気軽に公園を活用できればと思い、本日の提案を行う。
- (1) お手軽ピクニック：お友達や家族、仲間と一緒に、ピクニック気分でライチタイム
- (2) こどもクラフト教室：子ども達が取り組む周囲で地域の大人が見守る風景を作りたい。
- 例1：くるみボタン作り
 - 例2：マスキングテープで貼り絵作り
 - 例3：ミニほうき作り
 - 例4：かざぐるま作り
- ・ 準備の必要がない縄跳び大会、里山教室などでも良いかもしれない。



②「健康フェア（仮）で、まちを元気に！！」

(1)

- ・ 琉舞を教えている。11月のイベントではそれを活かして琉装を楽しんでいただく「琉装体験」で出店した。
- ・ コロナなどにより不調な方も増え、また自分自身も以前より健康に関心を持っており、心と体の健康のイベントを開催できればと思い至った。
- ・ 指草（さしくさ）という雑草から作られる栄養価の高いお茶（知り合いが製品化）や、パイパーズなど、健康に良いものをイベントで紹介できればと考えている。浦添市の特産品桑茶などもよいのではと思う。
- ・ そのほか、アロマセラピーやヨガ、音叉（おんさ）などもよいのではと考えている。
- ・ 健康関連で出店したいという知り合いなどがいれば、紹介をしていただきたい。



(2)

- ・ 普段は、店舗を構えない整体（自宅、出張、場所を借りて）を行っている。公園を活用した取り組みなども良い機会だと考えた。整体を簡単な形にして提供が可能である。
- ・ 整体以外にも、公園という自然を活かして、野草を一緒に探す（野草ツアー）など、日ごろ気づかないことに気づくような体験などがあるとよいのではないかと思う。そのことによって、自然と生活をより密着したものとしてとらえることができるようになる。



<意見交換>

- ・ パイパーズの普及促進の活動をしている。経塚公園の壁面緑化としてパイパーズが使われている。毎月第3日曜日、3月より開始している。大交易時代に沖縄にわたってきた歴史ある植物でありながら、あまり知られていない。壁面緑化として住みやすい街づくりに貢献し、また食すると様々な効能のある植物であるので、もっと皆さんに知らせていきたい。

③「公園で運動トレーニングを！！」

- ・浦添市でパーソナルトレーニングのジムを経営している。年齢にかかわらず行うことのできるトレーニングがある。
- ・北谷で行った「親子トレーニング」では、親子などみんなで楽しめるゲームを行い、その後、大人をメインとしたトレーニングを行いながら、家族の交流を目指すものである。



④「浦添のマスコットキャラクター」

- ・11月26日のイベントではこの連絡会で協力を得て英語のカードを作っていたが、大変助かった。このイベントでは480種類の魚の展示を行ったが、公園の木などに展示できたら楽しいのではないかと考えている。
- ・次の出店アイデアとしては、浦添市のイメージキャラクターを作って展示販売をできたらと考えている。てだこホールで「ミュージカル尚寧王」を開催するが、試験的にそこで販売することを考えている。そのような関係からキャラクターは「尚寧王」とすることとした。
- ・イベントとして、ジャズなどもできないかとも考えている。



<意見交換>

- ・キャラクター名で浦添ということで打ち出すのであれば、キャラクターは察度の方がふさわしいのではないかと。

3. 来年2月の社会実験に向けて

UR都市機構 新澤 聡さん

(1) 本日の内容

- ・URでは、浦添市の経塚公園などの公園まちづくりの手伝いを行っている。前回の公園活用連絡会で来年2月の社会実験の提案を行ったが、本日は進捗報告と出店者の募集を行いたい。

(2) 概要の説明

名称：(仮) 経塚ヘルシーパークフェスタ (経塚公園第3回社会実験)

目的：

- ・「経塚公園まちづくり計画」(経塚公園の方向性『地域の健康づくりや市民の健康増

進に資する「ヘルシーパークJ」を可能な範囲で実践する。

- ・プレイスメイキング（居心地のよい空間づくり）の要素を取り入れ、利用者のニーズ把握・使われ方の検証、施設配置・景観等の検証等を行うことにより、今後の公園整備、P-PFI 施設整備の参考とする。
- ・今後の公園整備の PR を行い、期待感を醸成する。

実施体制：共催：浦添市、UR 都市機構、(仮)経塚ヘルシーパークフェスタ実行委員会

日時：令和 5 年 2 月 4 日（土）、6 日（月）、7 日（火）（5 日(日)は 4 日の予備日）

10:00～15:00

(3) 会場イメージ

- ・現在造成工事を行っている。
- ・イベントエリアの中心では人工芝を敷き詰めイベントを行うほか、周辺では出店ブースを設ける。

(4) プログラム（調整中）

<2/4（土）（予備日 2/5(日)）> ※変更の可能性あり

- ・各種スポーツ体験
- ・苔玉作り教室（うらそえ公園管理共同企業体）
- ・歴史散策ツアー（うらおそい歴史ガイド友の会）
- ・モノレール・グッズ販売（沖縄都市モノレール）
- ・キッチンカー ・公園 PR コーナー 等

<2/6（月）・7(火)> ※変更の可能性あり

- ・体力測定、健康体操、健康相談等（さっとん）
- ・運動あそび（子むすびの森保育園・若竹福祉会）
- ・公園 PR コーナー 等



(5) 出店募集中

- ・12 月 16 日（金）までに内容、参加日等必要事項の連絡をいただきたい。
- ・出店料は無料(本来は有料)。基本的に備品機材等の各自調達、飲食提供等の各自届出を行っていただきたい。調整により、希望に添えないこともあるかもしれないことを了承願いたい。

<意見交換>

- ・飲食での出店における保健所等の手続が複雑なので、相談窓口などがあるとよいと思う。出店が難しいというイメージから、出店に結び付かないことも多いように思う。
- ・人工芝は夏だと非常に熱くなると聞いたことがある。夏に開催することがあれば、その

点が心配である。

- ・パイパーズではテントが欲しいが、今回のイベントでは用意していただけるか？
- ・発電機が壊れてしまったので、2月も使えない。
- ・イベントには音楽があるとよいと思う。
- ・(シェイプスガールズ) 第3回社会実験に参加したい。
- ・ボランティア連絡協議会には56のボランティア団体が所属しており、その中の団体も活動できるかもしれない。

4. 自己紹介

- ・現地参加、オンライン参加の皆様の自己紹介を行った。

5. 11月26日イベントの振り返り

(1)報告

- ・11月26日は、指定管理者であるうらそえ公園管理共同企業体が主催、経塚公園利活用連絡会から生まれたあずまや会が共催となってイベントを開催した。
- ・雨で公園内がぬかるんでおり、急遽表の舗装側に開催場所を変更した。場所の変更をしたおかげで、通りがかりの参加者が多くなった。

<イベントプログラム>

- ・パイパーズ市 (コショウ作り体験、販売、パネル展)
- ・天然石アクセサリー販売
- ・琉装体験
- ・沖縄のさかなパネル展
- ・スケボー
- ・ペットボトルイルミネーション制作・点灯
- ・草花・野菜の販売コーナー
- ・キッチンカー

- ・長時間滞在の方も受けけられた。(イルミネーション点灯の時間などにも再来園された等。)
- ・イベントアンケートからは、草花・野菜販売コーナーへの満足度が高く、求められていることが分かった。

(2)アンケート結果 UR都市機構 新澤聡さん

- ・参加者：延べ300名程度、アンケート回答者：54名
- ・イベント情報入手は、「口コミ」や「通りがかり」が多かった。
- ・全体的な感想としては、85%の方が「とてもよかった」「よかった」と回答された。

- ・よかった催しもの（複数回答）としては、「草花・野菜の販売コーナー」「ペットボトルイルミネーション」などの回答が多かった。
- ・次回の社会実験への参加に対しては、68%が「来場者として参加したい」、26%が「内容によっては来場者として参加したい」と回答された。
- ・年齢は「40代」が最も多く、「50代」「30代」などが続く。
- ・居住地は「経塚応援周辺の浦添市」が42%、浦添市街が37%であった。
- ・職業は、「会社員」が最も多く、続いて「主婦」であった。
- ・来場手段は「自家用車」が48%、「徒歩」が30%であった。駅前であるため、「モノレール」利用者も9%程度いた。
- ・自由意見としては、おおむね高評価であったが、「駐車場の案内があればよい」「屋根が大きい方がゆっくり休める」などの声もあった。

(3)意見交換・感想

- ・知り合いから、浦添市の経塚公園が検索に引っかかない、という報告を受けた。
- ・イベントを公園内で行うのではなく、外に向けて行うことができたことはとても良かった。
- ・動物ふれあいコーナーのようなものがあればよかった。
- ・イベントに参加したきっかけなど、交通手段との関連もあるかもしれない。Ex)モノレールに乗っていて、イベントが見えたから参加した、など。
- ・石嶺方面から経塚シティへ向かう途中にイベントを見かけて立ち寄った方もいるかもしれない。
- ・人が通りそうなところにイベント看板があるとよい。
- ・第1回目の社会実験から琉大の先生や学生も参加してくれて、継続性を感じてすばらしいと思った。
- ・「よそ者」「若者」「ばか者」が集まれば面白いことができると聞いたことがあるが、面白いこと、わくわくすることをやっぴいこう。
- ・2月にイベントに向けて気になっているのは、トイレ問題である。
- ・3月のイベントは延期になってしまったが、今回実現できてうれしかった。
- ・イルミネーションについては、前夜に点灯することにより告知し、翌日の参加（ペットボトルでイルミネーション制作、その場で点灯確認など）につなげたい。ペットボトル持参や当日スタッフ確保なども考えていく。事業者の宣伝用のペットボトル点灯なども検討したい。
- ・琉装体験など、皆さんに協力していただいて、助かった。

以上